



### 平成26年明けましておめでとうございます

1月8日(水)、平成25年度第3学期が始まりました。今年は、午年。「坂下南小学校の教育活動もすべてうまくいく」年になるといいなと、初詣でお願いしました。始業式の校長の話と児童代表「第3学期の目標」の一部を紹介します。



「明けましておめでとうございます。」児童全員、大きな声で3回言いました。この写真を見て下さい。お姉さんのあみさんの夢は「警察官」、弟の諒君(6年)の夢は「機動隊の大隊長」。(福島県広報誌ゆめだより No241 より)平成26年の新年だから、自分の夢を書いてみるというのもいいですね。皆さんも夢がありましたよね。

今日は、あみさんと諒君についてのお話をします。今から約3年前、東日本大震災と原発事故の発生後まで、さかのぼります。二人は飯野町に住んでいて、家族とともに避難していました。1か月後に自分の家に帰るときに、被害のひどかった町を通りました。そこは、建物が崩れていたり、木が倒れていたりして全く違う景色になっていました。それに、ひどい臭いで、気分が悪くなるほどでした。そんな中に作業服を着てもくもくと仕事をする警察と自衛隊の人達がいました。「1日中、壊れたものを片づけたり、行方不明の人を探しているんだよ。」とお父さんが言いました。その姿が諒君の心に強く残りました。諒君の家の近くの道路には毎日たくさんの車がああの町に行くために通ります。車に手を振ってみると、車の人も手を振ってくれました。その日の夜、諒君は今日のできごとをじっと考え、あることを思いつきました。

次の朝から、諒君は「早めに学校へ出かける。」と言って家を出て、道路に立ち、警察や自衛隊の車にむかって大きな声で「おはようございます。がんばってください。」とあいさつをしました。帰りも1時間道路に立って、あいさつをしました。何日かすると、お姉さんも一緒に立ってくれました。車に乗った人にわかりやすいように、あいさつの言葉を書いた紙を持つことにしました。こうして、二人のあいさつが始まりました。ほとんどの車が手を振ってくれたり、パトカーは赤いランプを回して通っていきました。「僕たちがあいさつをしているのが分かってくれているんだ。」「警察の自衛隊の人達もがんばっているんだから、私たちががんばろう。」雨の日も、寒い日も暑い日もあいさつを続けました。1か月後、警察の人から「あなたたちの応援と笑顔に励まされています。私たちの心の支えになっています。どうもありがとうございます。」とのお礼をもらいました。二人は、その後も2年間道路に立ち、あいさつを続けました。今も、お礼の気持ちを伝える活動を続けています。



あいさつってとても素敵ですね。あいさつで励まされたり、将来の夢につながったりするんですね。皆さんも第3学期、しっかりあいさつをしましょう。校長講話より

二学期に特にがんばったことが、二つあります。一つは係活動です。生き物係として、水やりやえさやり、水槽洗いなどみんなで協力してできました。二つ目は、図書委員会です。当番の日には、本の整理などをやりました。本をかたづける場所を探したりするのは大変だけど、終わった後きれいになってスッキリしました。

三学期、生活面でがんばりたいことは、朝のあいさつです。二学期は、声が小さかったり、恥ずかしくて通りすぎるだけだったので、三学期は誰にでも大きな声であいさつができるようになりたいです。学習面では、特に算数の計算に力を入れたいです。私は、いつも時間を計って、なるべく速く正確にできるように努力してきました。三学期は、もっと速く一問でも多く解けるといいな。・・・ 児童代表の目標より

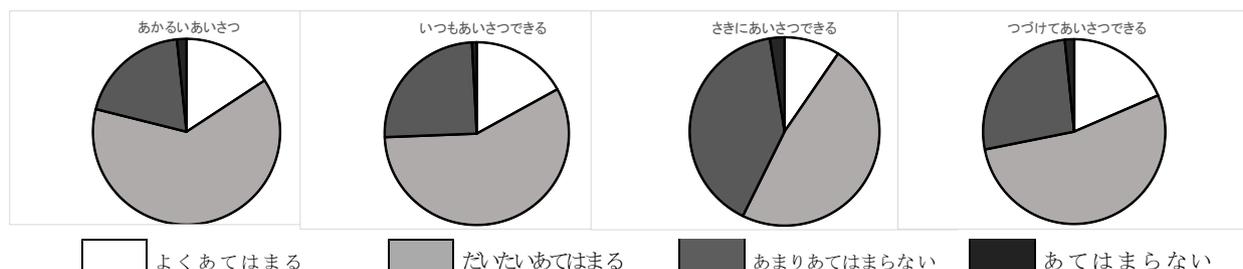
## 教育活動の一端から

### <よく考え進んで学習する子ども>

始業式の日、子ども達は冬休みの宿題や学習に使う道具などたくさんの荷物を持って登校してきました。どの学級でも、冬休みの宿題をちゃんとやってきたかの確認をしていました。また、冬休みの学習状況の確認テストを行ってる学年もありました。やらなければならないことはしっかりやらせたいと思います。第3学期は1年のまとめの学期です。

### <感動する心を持ち思いやりのある子ども>

昨年1月に、保護者の方々等を対象にして、第1回目のあいさつについてのアンケート調査を行いました。243名の方々から回答が寄せられ、その結果については、第2学期授業参観のときの全体会の中でお話ししました。その内容を掲載します。



#### <意見欄から>

- 朝登校班まで子どもを送るとき、あいさつしても返事がない。すれ違う子も返事がない。
- ……学年の大きい方がきちんとあいさつできるように思う。
- あいさつすると元気に返してくれるが、高学年になるにつれあいさつする子が少ない。

上記のアンケート結果を見ると、「明るくあいさつができる」については、79%の方々が「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」と回答しており、第2学期の成果が表れてきていると考えられます。「いつもあいさつできる」「つづけてあいさつできる」については、「よくあてはまる」「だいたいあてはまる」が74%・72%とまあまあの結果です。しかし、「さきにあいさつできる」については、58%と低い結果となっています。また、アンケート回答者の4分の1程度の方々は、本校児童のあいさつの状況が「明るく、いつも、先に、続けてあいさつする」になっていないと答えておられることに真摯に目を向けなければなりません。

「あいさつ、返事」については、学校と家庭と地域の方々と一緒に子どもへの指導をしていかなければ改善できないものと考えます。どうぞ、あいさつを返さない子どもには、「あいさつをしなさい。」と注意をしてください。また、「素敵なあいさつ」をする子どもを見かけたら、学校に一報ください。

通学路 みんながあいさつ かわす道 平成25年度青少年育成標語コンクール最優秀賞



### <明るく健康でたくましい子ども>

冬休み明けは、幸いなことに降雪量の少ない日が続いていますが、これからますます寒さは厳しくなり、積雪量も増えます。雪道での登下校は、子どもにとっては楽しい遊び場所かもしれませんが、それは危険な場所でもあります。危ない遊びをしている子どもがいましたら、「危ないからやめなさい。」と一声かけてやってください。

#### 【表彰・・・おめでとうございます】

##### <平成25年度 福島県児童画展>

入賞 2年 「たまごから町が出てきたよ」

##### <バンビ美術館出品作品>

1年	2名	2年	2名
3年	2名	4年	2名
5年	2名	6年	2名



